

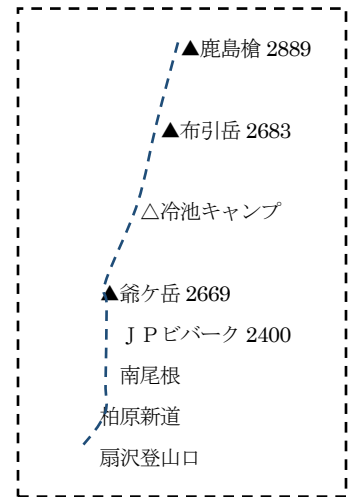
北アル 爺ヶ岳 南尾根からの撤退

記：労山つりばし 下窪義文

H27年雪山縦走リーダー学校生とスタッフ有志の混成Cで、爺ヶ岳南尾根から鹿島槍をGW後半に計画した。扇沢柏原新道登山口から爺ヶ岳までは標高差 1320m、登山口から積雪があり樹林帯から南尾根の直登は装備重量から限界に近いものがあった。JPを過ぎると5~6張のテントがあり鹿島槍を目指している。

爺ヶ岳の雪面取付きで先行Pの足元から雪崩が発生したが大事にいたらなかった。午後からの気温の上昇とともに雪面状態は悪かった。

冷池までの行動を諦めJPでピバークして明日鹿島槍をアタックすることにした。雪面にテント設営し夕食の準備にしているとメンバーに緊急の知らせが入り計画を断念して明日下山することにする。稜線は風も無く星空の下で快適に過ごすことができた。



- ・と き： 2017年5月3日（夜）～5日（夜）
- ・予定コース
 - 1日目) 扇沢柏原新道登山口～爺ヶ岳南尾根JP～爺ヶ岳～冷池
 - 2日目) 冷池～布引岳～鹿島槍～冷池
 - 3日目) 冷池～爺ヶ岳～南尾根～扇沢登山口
- ・参加者：CL：近藤和代（白峰山の会）
SL：中野玲子（ELF）
：水口 忍（くまごろう）
：下窪義文（つりばし）

（前夜）JR森ノ宮駅駐輪場 18時集合で近藤（車）で出発

東大阪北ICから高速に入り、多賀SAで休憩（豊中労山Cと会う）運転交代で恵那峡SA休憩、長野道豊科ICで下りて「道の駅安曇野松川」でテント仮眠する2：00。

（1日目）5時起床で道の駅出発。6時扇沢第2駐車場（無料）に止めることができた。扇沢の大橋を渡ると登山指導所で計画書の提出を求められる。昨日160、今日50人の入山とのこと。好天が続き柏原新道尾根道から冬山ルートで爺ヶ岳に入るように指導を受ける。ハツ見ベンチまでは約1時間で休憩する。少し登ると冬山ルートの黄色い看板の分岐があり樹林帯の登りが続く。ルートはハッキリしていたが気温の上昇で雪質は悪くなってきた。岩小屋沢岳の東斜面から雪崩の轟音が聞こえ流れているのが見える。樹林帯を抜けてJPへの雪面の直登が続く。JPに立つと爺ヶ岳の山頂が見えてきた。ゆるい傾斜の雪面にテントが所々張られている。爺ヶ岳登りの急斜面で先行Pの足元から雪崩が発生して100m以上流れたが大事にいたらず良かった。本日の行動を中止してJP雪面にテント設営する。13～14：00

15:00 夕食の準備

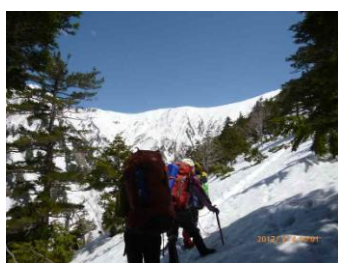
19:00 就寝



扇沢の柏原新道登山口



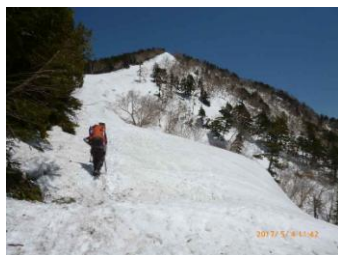
冬山ルートの方岐



種池稜線を眺めての登り



西側の岩小屋沢岳の斜面



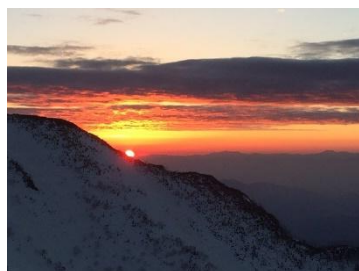
南尾根JPへの登り



JPからの爺ヶ岳

(2日目) 3時起床。5時朝日を眺めて下山開始。雪面の下りはアイゼン着用し、樹林帯に入り足を取られながらも慎重に下るとハツ見ベンチ 7:25 着。アイゼン外して新道をから無事に登山口に着いた 8:25。車道を扇沢駐車場へ 8:30。

JR大系線信濃大町駅でメンバーと別れて、3人は車で帰阪する。



テント場からの朝朝日



爺ヶ岳を背に下山



富士山・ハツ岳の遠望

雪山縦走リーダー・学校生の実践登山行に急遽参加を受け入れてくれて感謝です。積雪期の比良山、大日岳、八ヶ岳の実技山行を踏まえ総集編ともいえる今回の山行は、自分たちで計画して、行動力と判断力を感ずることができた。目標は達成できなかったが再チャレンジの目標を感じ取ることができました。美味しい食糧計画のKさん、安全安心の精神力のNさん、たくましい行動力のMさん、今回の山行は楽しかったです有難う。